

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3972100220
法人名	医療法人 土佐楠目会
事業所名	シルバーハウス寿楽
訪問調査日	平成20年11月13日
評価確定日	平成21年1月15日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972100220		
法人名	医療法人 土佐楠目会		
事業所名	シルバーハウス寿楽		
所在地 (電話番号)	香美市土佐山田町百石町1丁目11-15 (電話) 0887-53-1177		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年11月13日	評価確定日	平成21年1月15日

## 【情報提供票より】(平成20年10月28日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成13年8月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14 人、非常勤 2 人、常勤換算 14.8 人	

## (2) 建物概要

建物形態	併設 <del>単独</del>	<del>新築</del> <del>改築</del>
建物構造	木造(改築)及び鉄骨(増築)	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~20,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有( 円)	<del>無</del>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

## (4) 利用者の概要(10月28日現在)

利用者人数	17 名	男性	1 名	女性	16 名	
要介護1	6 名	要介護2	4 名			
要介護3	3 名	要介護4	2 名			
要介護5	1 名	要支援2	1 名			
年齢	平均	86.5 歳	最低	73 歳	最高	102 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	楠目循環器科内科・眼科
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

木造民家を改造した事業所に鉄骨の建物を増築し、1階と2階の2ユニットからなるホームである。利用者が積極的に外出することを方針に掲げ、本人の希望のもとに散歩を日課としており、これを通じて地域の人々との交流も図っている。それぞれのユニットは連携しながら生活しており、利用者が階段を行き来する姿がよく見られる。採用間もない職員も、事業所の方針や取組みをよく理解しており、職員一丸となって、利用者一人ひとりを大切にしながら、互いに助け合い、サービスの質の向上に努めている。事業所全体として生活感があり、清潔な印象のホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題である「終末期ケアへの取り組み」は、職員間では話し合っているが、現時点では、母体法人の方針で法人が経営する病院で対応していることから、取り組みは進んでいない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	① 評価項目を全職員で確認しあいながら、日常業務の中の課題や問題点を洗い出し、自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は2カ月に1回開催し、利用者の暮らしの報告、事故報告、評価の報告などに対する、参加メンバーからの意見や要望を汲み取り、日常業務に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会、運営推進会議、意見箱、家族の来訪などにより、利用者や家族の思いを汲み取る努力をしている。また、家族に送付している「暮らしのたより」にも、苦情や相談の対応窓口を記載しているが、今までのところ大きな苦情は寄せられていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者は、散歩を兼ねて近くの道路や公園のゴミを拾う活動を続けるなど、積極的に地域に溶け込むよう努めている。また、町内会に加入しており、地域の情報を収集し行事等にも参加している。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 職員と共に設立時に作った事業所独自の理念を「寿楽の願い」として示しており、地域密着型サービスの理念を汲んだ内容となっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員採用時に理念を徹底すると共に、勤務の中でも常に職員同士で理念を確認しあっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 問題が起きた時などには、職員全員で理念に立ち返り、確認や反省を行い、日々のサービス提供場面でも、「あたりまえの暮らし」ができるよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会に加入し、回覧板で情報を収集し、地域住民の一員として接点を持つ努力をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 町内会独自の行事は少ないが、地域の神祭などには努めて参加するようにし、散歩を兼ねて公園までの道や公園のゴミ拾いなども行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 評価項目を全職員で確認しあいながら、日常業務の中の課題や問題点を出し、自己評価に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題について、改善の話し合いはしているが、改善計画を立てるまでには至っていない。	○	前回評価で見出された課題については、母体法人の方針で事業所単独での改善が困難であるとのことであるが、見出された課題については、その趣旨を職員で話し合い、運営者を含んだ検討の実施など、改善計画を立て、一歩でも前に進むよう取り組んでいくことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  会議は2カ月に1回開催し、事業所の取組みを伝え、家族や地域からの声を汲み取る場として大切にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  事業所として不明なことや相談したいことがある時などはその都度出向き、交流を深め、利用者へのよりよい支援につなげている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には、利用者の状況報告と共に、家族の思いなども把握するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。  事業所での暮らしぶりを毎日記録したものを1か月分まとめ、家族に届けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。  使途の確認は職員2名で行い、金銭出納帳を家族に示し、領収証のコピーを渡して、家族の確認サインももらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族の意見や不満を出してもらおう場として家族会を年3～4回開催している。また、1階と2階に苦情箱も設置し、意見を出せるような仕組みを作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  苦情や不満が寄せられた場合は、職員に伝え、全体会で報告し、改善案を検討する。その後、家族に結果を伝えるとともに、今後の参考として職員にも周知している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 ユニット間の異動を極力避け、離職者も出さないように努力している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わるときは、引き継ぎの期間を十分に取し、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎ期間は半月から1カ月は取るように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 新任者には職場内研修を実施するとともに、他の研修にも参加を勧めている。1研修に1～2人が参加し、全職員が公務で出席できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 すぐ伝えたい内容は、毎日の申し送り時に報告しているが、月2回の学習会等で全職員に報告し、研修内容を共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 地域のグループホームから1施設3人くらいの職員が集まり、事例検討や悩みごとなどを話し合い、交流を図っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 入居に際しては、本人や家族に来てもらい、情報の把握と意向の確認を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 希望者には見学及び体験入所をしてもらっている。 <input type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 事業所での面接は複数の職員で実施しているが、病院や家庭での訪問面接の場合は、複数の職員で対応できていないことがある。	○	本人が安心してサービスを利用するために、訪問面接の場合でも入居希望者への面接は複数の職員で実施し、多面的・多角的に情報収集することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>掃除、洗濯、花や小鳥の世話など、利用者を主体に進め、職員も共に暮らす者同士として、互いに助け合う関係づくりが自然にできている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>常に利用者の思いや行動を優先し、職員は利用者をよく理解して、寄り添うように対応する場面が多く見られる。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>入所時の情報はもちろん、日々の暮らしの中で意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得ようとしている。</p> <p>きちんと意思や希望を伝えられない人については、家族から聞き取りをして情報を得ようとしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人からの希望は少ないが家族の意見は必ず聞き、計画に反映している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>毎週土曜日の午後を2ユニット合同の介護計画の日と定め、計画作成や見直しを実施している。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>基本的に3カ月毎に見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>変化が生じた場合は、短期プランとして一週間単位で対応して見直すなど、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関及びかかりつけ医の医師との連携や看護職員の配置により、状態変化に応じて事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>通院の送迎は、基本的に家族が対応しているが、家族の対応が困難な場合等、希望に沿って通院や外出は柔軟に対応している。外泊も日数の制限はなく、長い人で5～6日外泊する場合もある。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>希望する人は、入居前からのかかりつけ医で受診しており、本人や家族の希望を大切に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>家族からの連絡や家族への連絡を必ず行い情報を共有し、個人ごとの健康ノート、業務日誌にも記録している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>終末期ケアのあり方については、職員間では話し合いを重ねているが、近くに母体法人の病院があり、法人の方針として、事業所で終末期の対応を行う体制はとっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p>	○	<p>終末期ケアへの取組みは、家族の希望としても出されており、協力医療機関との連携を図ることにより、本人や家族が希望すれば、住み慣れた馴染みのある事業所において安らかな最期を迎えられるよう取り組むことを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。  排泄介助の声かけや入浴時の心配りなど、職員の利用者に対する言葉がけや態度は一人ひとりを尊重した対応である。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 利用者のプライバシーに関する話を他言しないよう、ミーティングや業務の中で常に意識させるよう徹底している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 新任者には採用時に、全ての職員には業務の中で、折に触れ話し、徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 毎朝の体操や朝食の時などに確認し、柔軟に対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的な事業所の1日の流れはあるが、利用者主体で柔軟に変更し、支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  献立は利用者の希望やその日手に入る食材などにより変更し、利用者はできることを分担するなど、生き生きと食事の準備や後片付けを行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  利用者と職員は一緒に食卓に着き、雑談しながら同じものを和やかに食べている。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>入浴は基本的に隔日、14時から18時に実施しているが、本人の希望に合わせるようにはしている。職員はほぼ3人に対応し、また遅出勤務についても10時から1名と12時30分から1名の職員を置くなど、勤務体制を工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒む人への対応は、散歩などに誘い、帰った後すぐ風呂場へ誘導するなど、職員が工夫して対応している。どうしても拒否する人には清拭、足浴などを実施している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>入所前の生活を中心に把握し、普段の行動や態度などから職員が汲み取り、能力を発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>家でやっていたことや興味を示すことを一緒にすることにより、それぞれの役割や楽しみごとを引き出すようにしている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>大半の利用者が地元の出身であり、美容院や商店など利用者が馴染みの店などによく出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>車椅子やシルバーカー利用者も積極的に外出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>散歩や買い物には日常的に出かけている。法人の軽自動車1台とワゴン車1台を利用して、ドライブや1泊旅行等にも出かけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p>1階北側の玄関は国道に面して危険なため、1か所のみ鍵をかけているが、他は鍵をかけずケアに取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>外出傾向のある利用者は、職員が見守り、出て行く場合はそと付き添って対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近くの美容院、薬局、消防などに協力を依頼しており、連絡をしてもらえる関係ができています。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に行っている。</p> <p>年2回消防訓練を実施し、毎月19日を救急の日として災害時の対処法などを職員で話し合っているが、地域住民の参加は得られていない。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>消火器は各フロア3か所に設置し、点検も実施している。避難路の確保もされているが、非常用食料が近くの閉鎖された法人病院(楠目病院)に備蓄されており、事業所内に確保されていない。</p>	○	<p>非常時には、地域住民の協力が不可欠であるため、事業所の訓練に地域住民の参加を呼びかけることを期待したい。また、非常用食料の備蓄を事業所内に移すことが望まれる。</p>
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>栄養摂取は1日1,500キロカロリー、水分摂取は1,300ccを目標に、チェック表でチェックし、1日分をまとめて個人ごとの健康状況記録に記入している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>栄養バランスに配慮しながら、利用者の嗜好や状態に合わせて献立の内容や調理法を工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>母体法人の栄養士にチェックしてもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>玄関や共用空間には花や緑を絶やさないように心がけ、椅子やソファを要所要所に配置し思い思いにゆったりと過ごせる空間となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>青い目の人形の絵画や布で作った干し柿の壁飾りなどを飾り、利用者にも好評な雰囲気となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関、廊下、トイレ、談話室などには季節の花や折り紙などを飾り、廊下の狭い窓枠にも一輪挿しを置くなど、僅かな空間も活用して、季節感や五感の刺激に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>ベッドを家から持ち込み、置物、花、写真などを飾り、清潔で掃除が行き届いた居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		